



管内経済情勢報告

令和 8 年 1 月

財務省東北財務局

管内経済情勢報告の調査方法の概略

◆調査期間

前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。

◆資料の分析とヒアリング調査

1. 各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査(回答企業 677 社)に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

2. 管内約 560 社へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施。

管内約 560 社からの協力を得て状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。


上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、令和 7 年 12 月 11 日に公表した「法人企業景気予測調査(令和 7 年 10-12 月期)」の結果を活用しており、計数や判断コメントは 12 月に発表した内容と同じである。

東北財務局

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	




（注）8 年 1 月判断は、前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。



（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあり、輸送機械が回復しつつあることなどから、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率がこのところ低下しており、新規求人数が前年を下回っているものの、企業の人手不足感が引き続き高い状況にあることなどから、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
-----	----------------	---------------	----------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

設備投資	7 年度は増加見込み	7 年度は増加見込み	
企業収益	7 年度は増益見込み	7 年度は増益見込み	
企業の 景況感	「下降」超幅が縮小	「上昇」超に転じている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、持ち直している」

スーパー販売は商品の値上げの影響等により、前年を上回っている。百貨店販売は飲食料品等が低調となっており、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売はキャンペーン効果等により、前年を上回っている。ドラッグストア販売は飲食料品や日用品などが好調となっており、前年を上回っている。ホームセンター販売は季節商品等が好調となっているものの、インテリア等が低調となっていることから、前年並みとなっている。家電大型専門店販売はパソコン等が好調となっており、前年を上回っている。乗用車販売は一部車種の受注の抑制等により、前年を下回っている。旅行は国内旅行が堅調となっているほか、海外旅行にも持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 物価高を背景とした一点当たり単価の上昇により、購買点数は前年を下回っている。一方、米や卵などの価格高騰の影響もあり、売上高は前年を上回る水準を維持している。(スーパー)
- 価格上昇の影響から、お歳暮は贈答先を限定する動きが強まっており、飲食料品を中心とした歳暮需要は低調となっている。一方、初売りでは菓子類や総菜などの食料品が全体として好調で、年始を機にやや贅沢な消費を行う動きがみられる。(百貨店)
- プロモーションを行ったコラボ商品等は好調に推移している。一方、他業態との競合に加え、クマ出没による外出控えも影響したのか、客数は伸び悩んでいる。(コンビニエンスストア)
- 競合他社の価格を踏まえ、手ごろな価格で販売していることが功を奏しており、飲食料品や日用品が好調となっている。(ドラッグストア)
- 今年は昨年と比べ気温の低下が早く、暖房器具や灯油などの冬物商品の動きが良い。一方、節約志向により、一層耐久財の買い控えがみられ、インテリアは全体的に低調となっている。(ホームセンター)
- 一部 OS のサポート終了に伴う買い替え需要により、パソコンが売上げをけん引している。また、青森県東方沖を震源とする地震の発生を受けて防災意識が高まり、石油ストーブ等に動きがみられる。(家電量販店)
- 東北地方において自動車は必需品であり、消費者の購買意欲は変わっていないものの、一部の車種で納期の長期化や受注の停止があり、安定して販売することができない。(自動車販売店)
- クマ被害報道による安全面への懸念や、物価高を背景とした節約志向が強まる中でも、当館が提供する付加価値や満足度の高いサービスには支出を惜しまないお客様が一定程度みられる。(宿泊)
- 海外旅行は、一部で円安を背景とした様子見姿勢があるものの、コロナ禍明け以降の需要回復が継続しており、全体としては持ち直している。近年見送られていた団体客の再利用も一定程度みられる。(旅行代理店)
- 初売りでは、紅茶やコーヒーなどの輸入嗜好品の福袋を中心に行列が発生し、価格上昇を見越したまとめ買いの動きがみられる。(専門店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

電子部品・デバイスは EV (電気自動車) を中心に海外の自動車向けで弱含んでいるものの、海外のデータセンター向けが増加していることなどから、緩やかに持ち直しつつある。輸送機械は国内向けを中心に回復しつつある。生産用機械は海外の半導体メーカーにおける需要を背景に持ち直している。このように、生産活動は、持ち直しつつある。

- 海外のスマートフォン向けは、新製品需要が前期から継続しているものの、車載向けは、EV (電気自動車) の需要鈍化や他社との競争により、厳しい状況である。(電子部品・デバイス)
- データセンター向けは、AI (人工知能) 需要が拡大していることから、好調となっている。(電子部品・デバイス)
- 人気車種の受注残を解消するため、高操業が続いている。(輸送機械)
- AI (人工知能) 向けは底堅く推移していたが、このところ、受注が増加していることから、操業度を引き上げる予定である。(生産用機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は、求人数が求職者数を上回って推移しているものの、このところ低下している。新規求人数は、人件費の上昇等を背景に、一部の企業で求人を見合わせる動きがみられ、前年を下回っているものの、法人企業景気予測調査の従業員数判断 BSI は「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は引き続き高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 賃上げに伴い人員体制や採用計画を見直しているとの声のほか、一部の企業では、求人を続けても応募がないことから、求人を諦めたとの声も聞かれた。(公的機関)
- 繁忙期には、子育て等を理由に退職した元社員を臨時雇用しており、採用・教育コストを削減できている。(小売)
- 特に有資格人材の不足感が強く、操業に深刻な影響が発生している。採用活動の強化に加えて、業務効率化により生産性を高めていく方針。(パルプ・紙)

- **設備投資** 「7年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期
- 製造業では、情報通信機械等で減少見込みとなっているものの、非鉄金属、生産用機械等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売等で減少見込みとなっているものの、金融・保険、物品賃貸等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 環境負荷低減のための投資を予定していることから、増加見込みとなっている。(非鉄金属)

➢ 建物老朽化による営業店の新築移転を予定していることから、増加見込みとなっている。(金融・保険)
- **企業収益** 「7年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期
- 製造業では、情報通信機械等で減益見込みとなっているものの、食料品、輸送用機械等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、不動産等で減益見込みとなっているものの、卸売、小売等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
- **企業の景況感** 「『上昇』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期
- 現状(7年10~12月期)は、「上昇」超に転じている。先行きは、8年1~3月期に「下降」超に転じ、8年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回っている。
- 潜在的な住宅需要はあるものの、価格が上昇していることに加えて、今後住宅ローン金利も上昇していくことが予想されるためか、購入に踏み切れていない。(建設)
- **公共事業** 「前年度を上回っている」
- 前払金保証請負金額は、国、県などで前年度を上回っており、全体でも前年度を上回っている。
- **消費者物価** 「前年を上回っている」
- **金融** 「貸出金残高は、前年を上回っている」
- **企業倒産** 「件数、負債総額とも前年を下回っている」

3. 各県の総括判断

	前回 (7年10月判断)	今回 (8年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
宮城県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
青森県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は横ばいの状況にある。
岩手県	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は弱含んでいる。
秋田県	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は横ばいの状況にある。
山形県	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は足踏みの状況にある。
福島県	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。

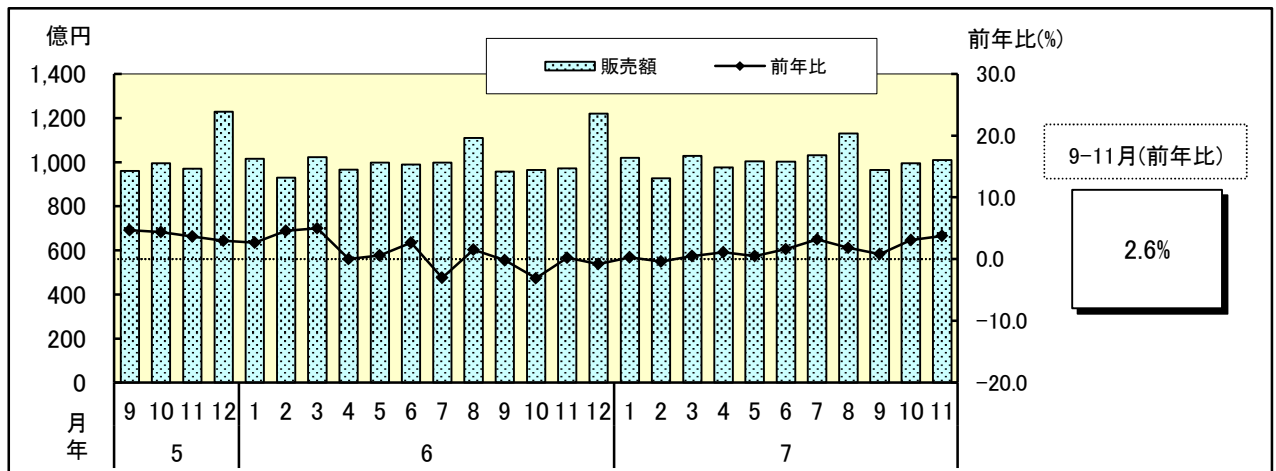
資料編

目 次

1. 個人消費	1
2. 生産活動	4
3. 雇用情勢	5
4. 設備投資	6
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	7
7. 住宅建設	7
8. 公共事業	8
9. 消費者物価	8
10. 金融	9
11. 企業倒産	9

1.個人消費 … 一部に弱さがみられるものの、持ち直している

スーパー販売額



全店舗ベース

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	2.6	0.8
6. 10-12	2.2	▲ 1.2
7. 1-3	4.6	0.2
4-6	5.2	1.0
7-9	4.2	1.9
7. 7	4.9	3.2
8	3.6	1.8
9	4.2	0.8
10	5.6	3.1
11	6.7	3.8

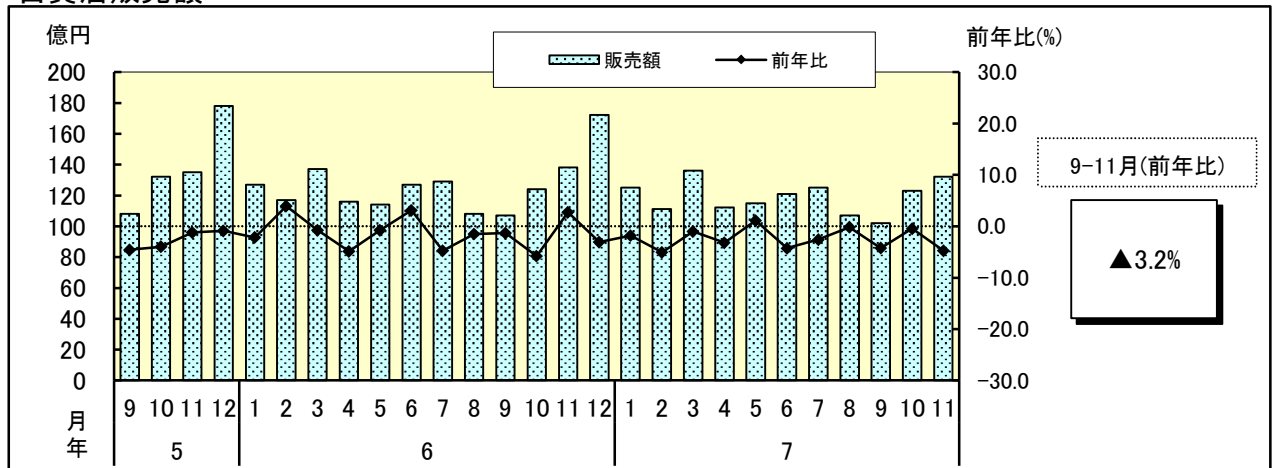
(注)6年分は年間補正後

品目別販売額

区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食料品 (前年比%)	その他の商品 (前年比%)
7. 6	▲20.1	▲17.0	3.2	▲ 5.6
7	▲22.8	▲22.7	5.2	▲ 5.8
8	▲20.7	▲26.4	3.3	▲ 4.5
9	▲20.5	▲21.7	2.5	▲ 8.2
10	▲13.8	▲17.6	4.2	▲ 0.5

〔経済産業省、東北経済産業局〕

百貨店販売額



全店舗ベース

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	6.3	▲ 1.4
6. 10-12	1.4	▲ 2.1
7. 1-3	▲ 0.4	▲ 2.6
4-6	▲ 6.8	▲ 2.2
7-9	▲ 1.4	▲ 2.3
7. 7	▲ 6.6	▲ 2.6
8	2.4	▲ 0.2
9	1.2	▲ 4.2
10	4.0	▲ 0.5
11	0.7	▲ 4.8

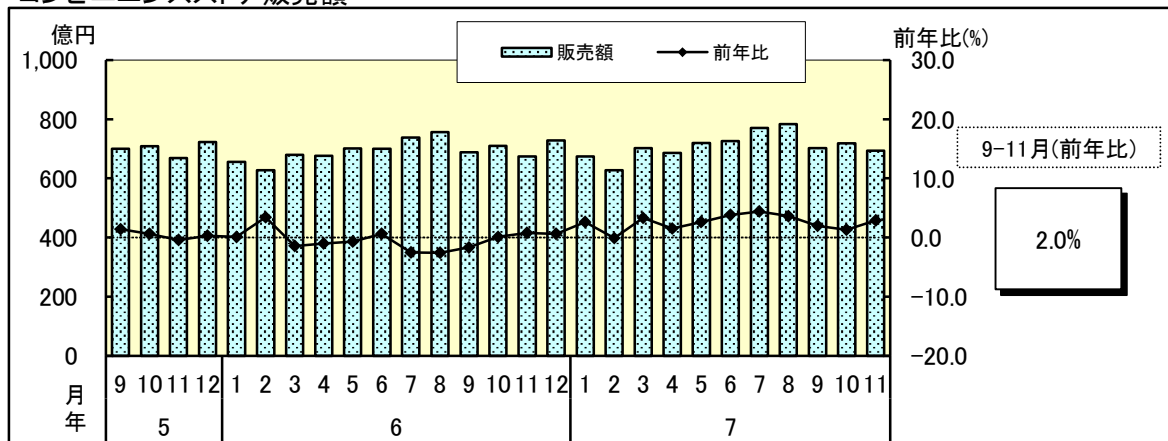
(注)6年分は年間補正後

品目別販売額

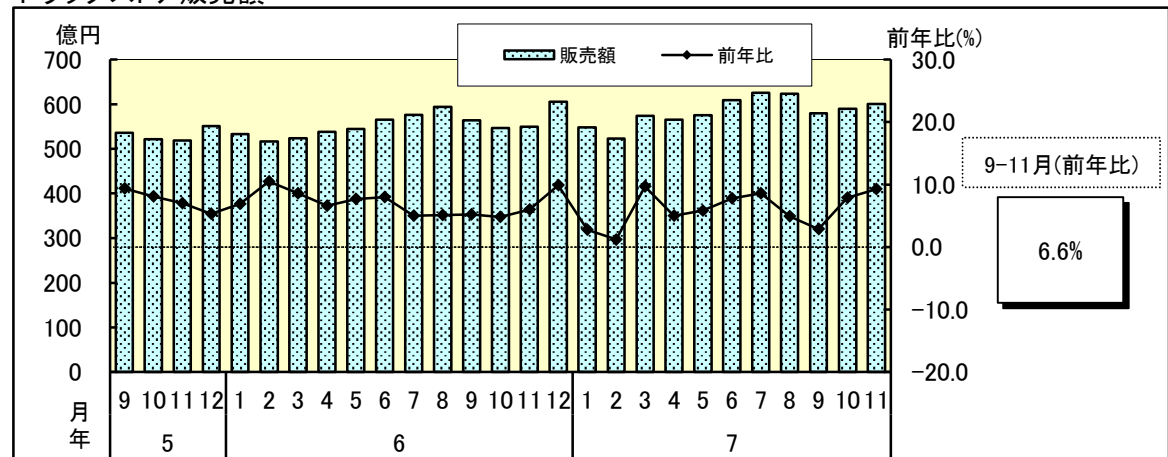
区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食料品 (前年比%)	その他の商品 (前年比%)
7. 6	▲ 5.8	▲ 4.2	▲ 5.4	▲ 2.4
7	▲ 3.1	1.9	▲ 3.8	▲ 4.9
8	2.1	3.4	▲ 2.9	3.3
9	▲ 7.8	▲ 0.4	▲ 4.1	▲ 2.6
10	▲ 1.7	▲ 0.3	0.4	1.4

〔経済産業省、東北経済産業局〕

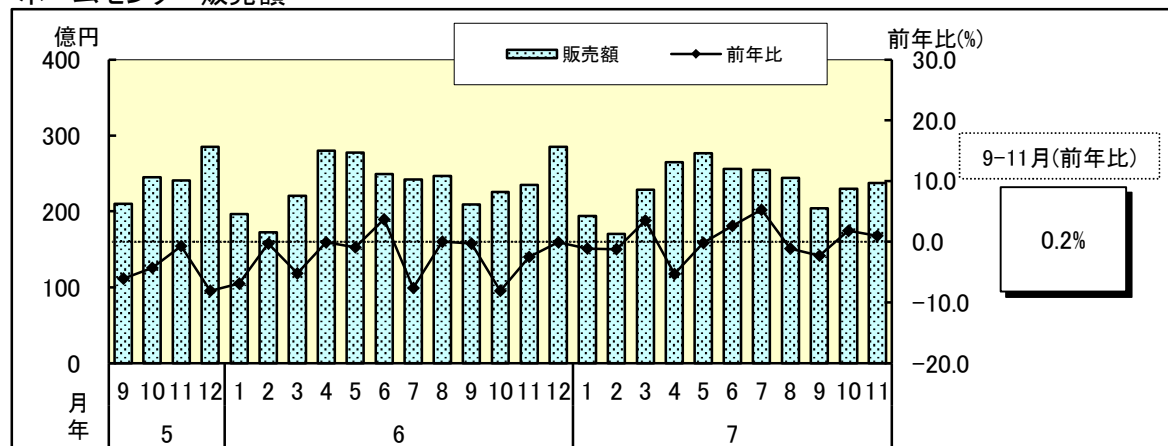
コンビニエンスストア販売額



ドラッグストア販売額



ホームセンター販売額



全店舗ベース

コンビニエンスストア

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	1.2	▲ 0.4
6. 10-12	1.0	0.5
7. 1-3	2.9	2.0
4-6	4.2	2.6
7-9	3.3	3.4
7. 7	3.6	4.4
8	3.3	3.6
9	3.0	2.0
10	2.6	1.3
11	3.9	2.9

ドラッグストア

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	6.9	7.0
6. 10-12	6.7	7.0
7. 1-3	5.8	4.6
4-6	6.6	6.2
7-9	4.6	5.5
7. 7	5.7	8.6
8	3.4	4.9
9	4.7	2.9
10	5.9	7.9
11	7.9	9.3

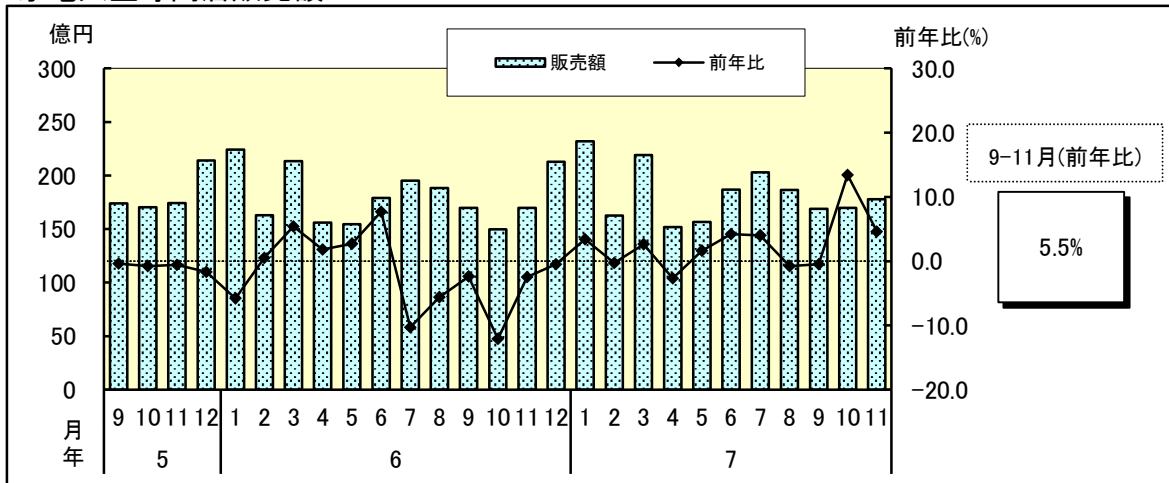
ホームセンター

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	1.7	▲ 2.3
6. 10-12	1.0	▲ 3.4
7. 1-3	0.6	0.6
4-6	0.8	▲ 1.1
7-9	▲ 1.6	0.8
7. 7	1.0	5.3
8	▲ 3.5	▲ 1.1
9	▲ 2.3	▲ 2.3
10	0.2	1.8
11	1.0	1.0

(注)6年分は年間補正後

〔経済産業省〕

家電大型専門店販売額



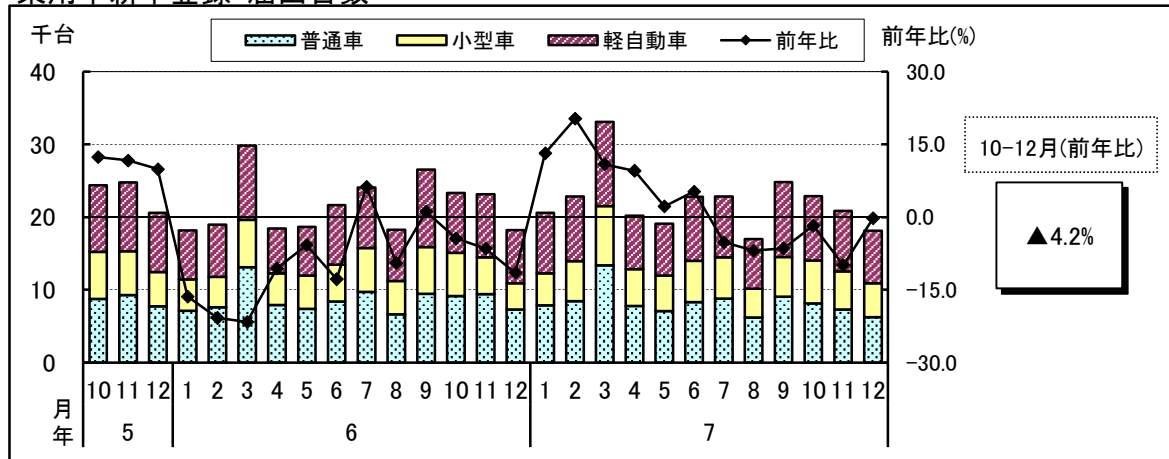
全店舗ベース 家電大型専門店

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
6年	2.1	▲ 2.1
6. 10-12	2.2	▲ 4.7
7. 1-3	5.3	2.1
4-6	3.8	1.2
7-9	1.6	1.0
7. 7	▲ 4.8	4.0
8	5.4	▲ 0.8
9	5.4	▲ 0.5
10	11.0	13.4
11	7.6	4.6

(注)6年分は年間補正後

〔経済産業省〕

乗用車新車登録・届出台数

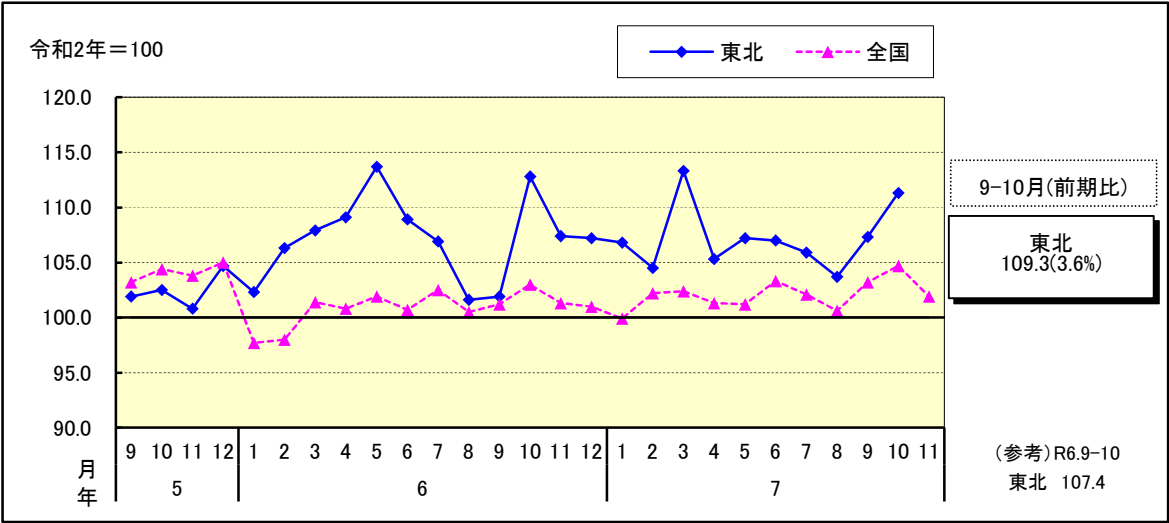


区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)	普通	小型	軽
7年	3.0	2.3	▲ 4.4	6.3	6.9
7. 1-3	14.0	14.2	6.7	20.1	19.0
4-6	6.5	5.6	▲ 2.3	11.7	10.5
7-9	▲ 4.5	▲ 6.1	▲ 6.8	▲ 11.4	▲ 2.0
10-12	▲ 3.7	▲ 4.2	▲ 16.0	7.6	1.2
7. 8	▲ 8.2	▲ 6.9	▲ 6.5	▲ 13.8	▲ 2.9
9	▲ 2.5	▲ 6.4	▲ 4.4	▲ 14.8	▲ 3.2
10	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 11.2	▲ 0.9	8.2
11	▲ 7.0	▲ 9.9	▲ 22.1	2.6	▲ 4.0
12	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 14.4	28.9	▲ 0.5

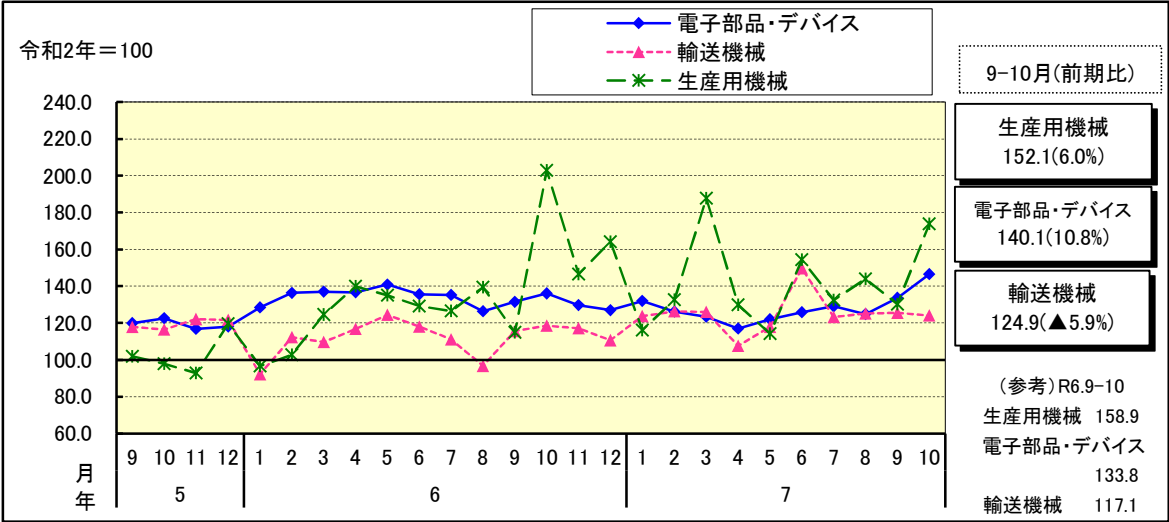
〔日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、東北運輸局〕

2.生産活動 … 持ち直しつつある

鉱工業生産指数(季節調整済)



鉱工業生産指数(業種別・季節調整済)



鉱工業生産指数(季節調整済)

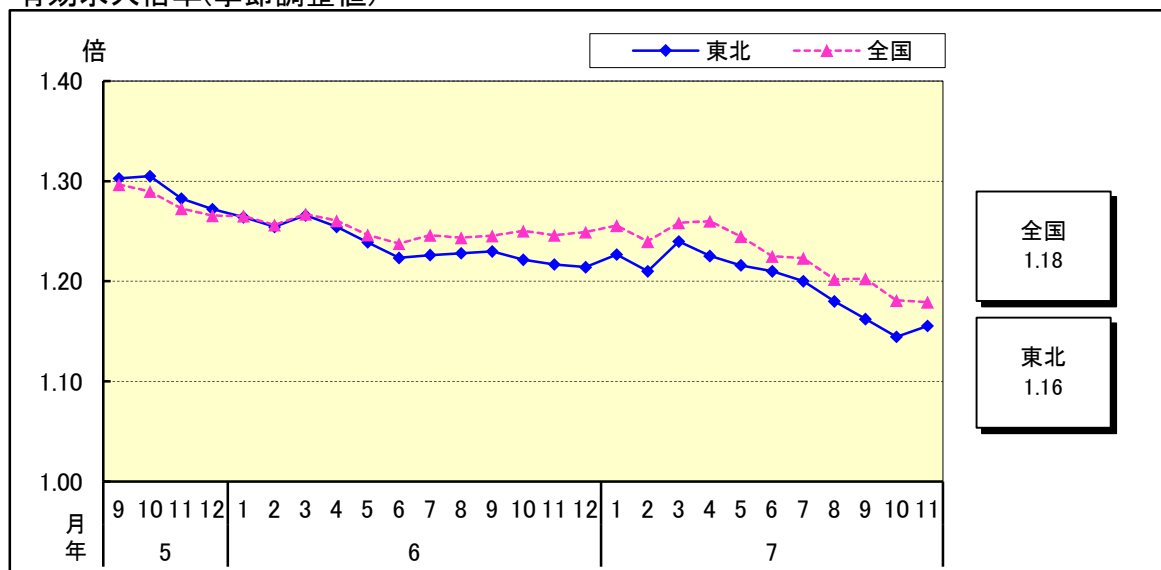
区分	全国 〔令和2年=100〕		東北 〔令和2年=100〕		電子部品・デバイス (Wt. 1,728.6)		輸送機械 (Wt. 741.5)		生産用機械 (Wt. 705.8)	
	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%
6年	101.2	▲2.6	107.3	2.2	133.5	10.1	112.5	▲7.6	133.8	18.4
6.10-12	101.8	▲0.4	109.1	5.4	130.9	▲0.1	115.5	7.1	171.2	34.8
7. 1-3	101.5	▲0.3	108.2	▲0.8	127.2	▲2.8	125.3	8.5	145.5	▲15.0
4-6	101.9	0.4	106.5	▲1.6	121.5	▲4.5	125.1	▲0.2	132.8	▲8.7
7-9	102.0	0.1	105.6	▲0.8	129.1	6.3	124.7	▲0.3	135.5	2.0
7. 7	102.1	▲1.2	105.9	▲1.0	129.0	2.5	123.2	▲17.6	132.4	▲14.2
8	100.6	▲1.5	103.7	▲2.1	124.8	▲3.3	125.2	1.6	143.9	8.7
9	103.2	2.6	107.3	3.5	133.6	7.1	125.6	0.3	130.2	▲9.5
10	104.7	1.5	111.3	3.7	146.6	9.7	124.1	▲1.2	173.9	33.6
11	101.9	▲2.7								

(注)1.前年比は原指数、東北の7年10月は速報値
2.6年分は年間補正後

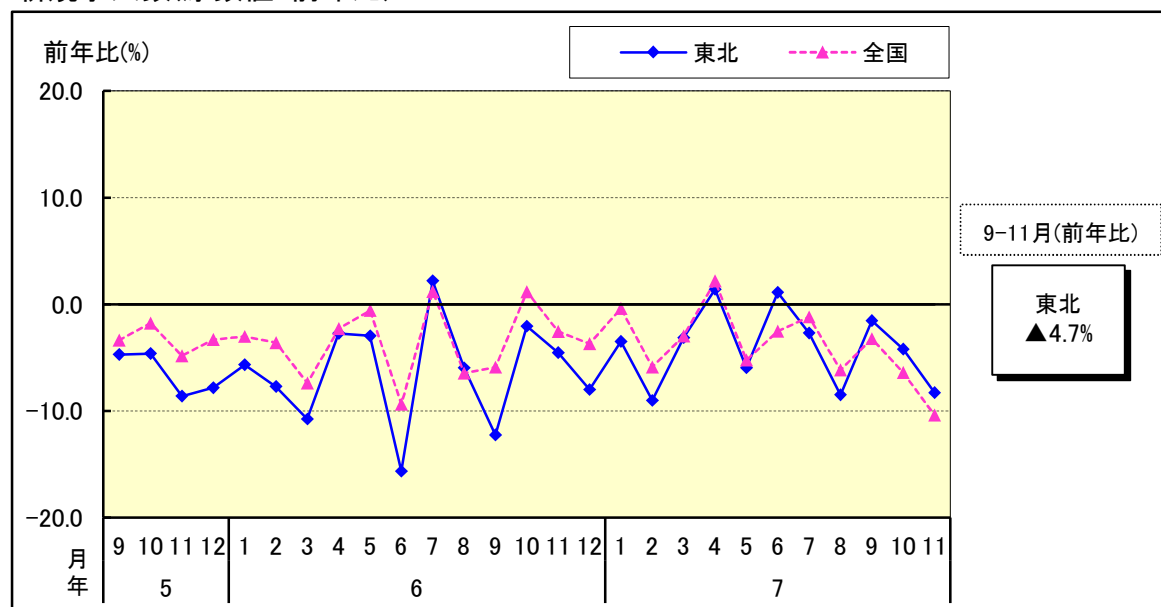
〔経済産業省、東北経済産業局〕

3.雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

有効求人倍率(季節調整値)



新規求人数(原数値・前年比)



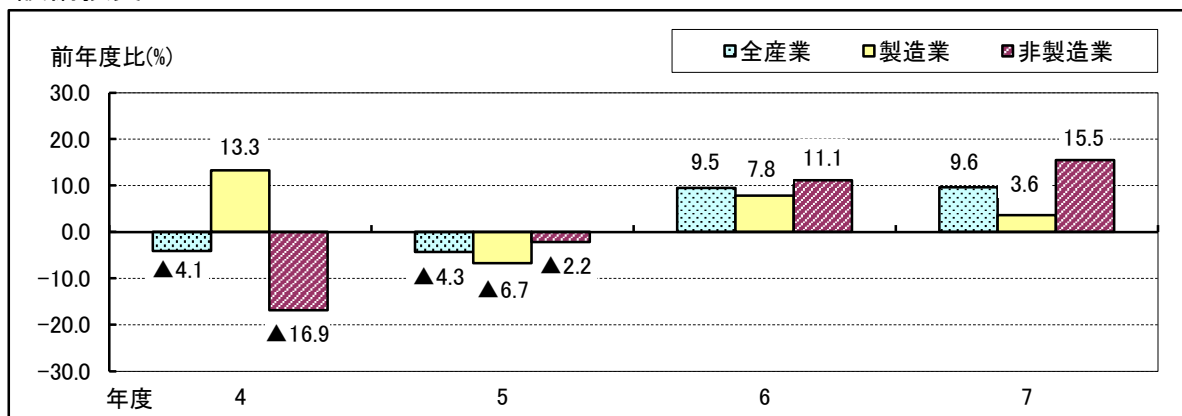
区分	有効求人倍率(季節調整値)				新規求人数		新規求職者数 (前年比%)	完全失業率	
	全国 (倍)	東北 (倍)	有効求人人数 (人)	有効求職者数 (人)	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)		全国 (%)	東北 (%)
6年	1.25	1.24	176,277	142,609	▲3.6	▲6.5	▲2.6	2.5	2.8
6.10-12	1.25	1.22	172,522	141,705	▲1.6	▲4.8	▲3.7	2.3	2.7
7. 1-3	1.25	1.23	170,446	139,099	▲3.1	▲5.3	▲6.8	2.4	2.9
4-6	1.24	1.22	173,196	142,406	▲1.9	▲1.2	▲2.4	2.6	3.0
7-9	1.21	1.18	168,941	143,329	▲3.5	▲4.2	▲1.6	2.5	2.7
7. 7	1.22	1.20	170,817	142,540	▲1.2	▲2.7	▲3.9	2.3	
8	1.20	1.18	169,517	144,212	▲6.2	▲8.5	▲2.4	2.6	
9	1.20	1.16	166,490	143,235	▲3.2	▲1.5	1.5	2.6	
10	1.18	1.14	164,155	143,424	▲6.4	▲4.2	▲4.6	2.6	
11	1.18	1.16	165,538	143,291	▲10.4	▲8.3	▲9.9	2.6	

(注)1.新規求人数・新規求職者数は原数値、完全失業率の年・四半期は原数値、各月は季節調整値
2.6年12月以前の季節調整値は改定値

〔厚生労働省、総務省〕

4.設備投資 … 7年度は増加見込み

設備投資



(前年度比増減率:%)

区 分	全 産 業	規 模 別			業 種 別	
		大 企 業	中堅企業	中小企業	製 造 業	非製造業
7 年 度	(6.1) 9.6	(6.2) 9.6	(5.1) 9.5	(8.4) 10.7	(2.6) 3.6	(9.3) 15.5

(注) 1.ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2.()書きは前回調査結果

3.グラフについて、4-6年度は当該年度の1-3月期調査結果で、7年度は見込み

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年10-12月期調査)」〕

5.企業収益 … 7年度は増益見込み

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	全 産 業	規 模 別			業 種 別	
		大 企 業	中堅企業	中小企業	製 造 業	非製造業
7 年 度	(6.7) 8.3	(3.7) 3.9	(19.0) 25.0	(▲5.8) ▲6.6	(10.2) 10.3	(2.0) 5.7

(注) 1.電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2.()書きは前回調査結果

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年10-12月期調査)」〕

6.企業の景況感 … 「上昇」超に転じている

景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

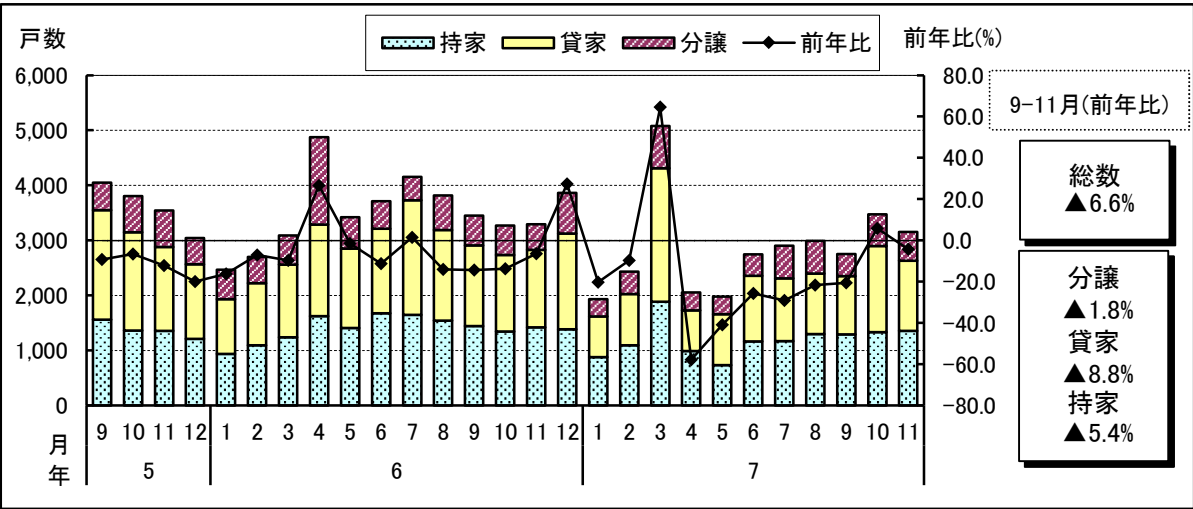
区 分		7年7～9月 (7年7-9月期調査)	7年10～12月 現 状 判 断		8年1～3月 見 通 し		8年4～6月 見 通 し
全 産 業		(▲ 1.2)	(▲ 0.6)	1.5	(▲ 5.7)	▲ 3.8	1.6
規模別	大 企 業	(5.7)	(2.9)	4.7	(▲ 2.9)	▲ 1.9	6.6
	中堅企業	(▲ 1.5)	(0.5)	2.1	(▲ 2.1)	▲ 2.6	2.1
	中小企業	(▲ 2.9)	(▲ 2.1)	0.3	(▲ 8.3)	▲ 5.0	0.0
業種別	製 造 業	(0.0)	(▲ 0.5)	▲ 1.4	(▲ 2.4)	▲ 4.3	5.3
	非製造業	(▲ 1.7)	(▲ 0.6)	2.8	(▲ 7.1)	▲ 3.6	0.0

(注)()書きは前回調査結果

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年10-12月期調査)」〕

7.住宅建設 … 前年を下回っている

新設住宅着工戸数

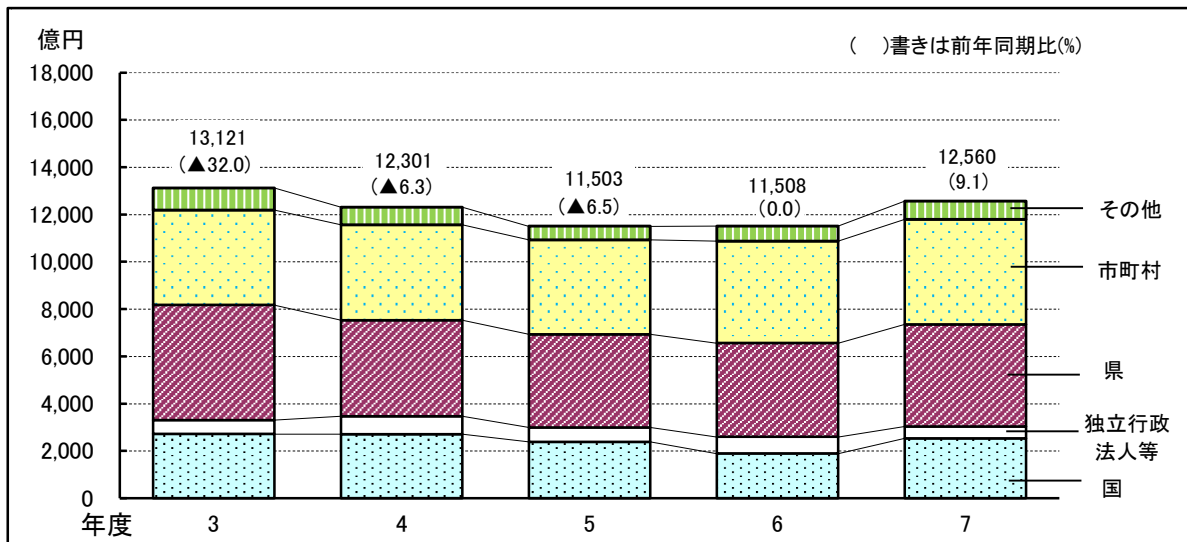


区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)	持家	貸家	分譲
6年	▲ 3.3	▲ 3.6	▲ 5.2	▲ 0.7	▲ 8.3
6. 10-12	▲ 2.4	0.8	5.7	▲ 2.7	▲ 3.6
7. 1-3	13.3	14.9	18.1	19.0	▲ 3.6
4-6	▲25.6	▲43.1	▲38.8	▲38.3	▲61.0
7-9	▲ 8.9	▲24.0	▲18.9	▲36.5	▲ 0.2
7. 7	▲ 9.7	▲29.2	▲29.1	▲45.1	39.5
8	▲ 9.8	▲21.6	▲15.8	▲33.1	▲ 5.7
9	▲ 7.3	▲20.6	▲10.5	▲27.9	▲25.2
10	3.2	5.8	▲ 0.7	12.0	8.5
11	▲ 8.5	▲ 4.3	▲ 4.6	▲ 9.5	13.6

〔国土交通省〕

8.公共事業 … 前年度を上回っている

前払金保証請負金額(12月末累計)



(注)その他には地方公社を含む

(単月)

月	7年10月	11月	12月
前年同月比%	38.0	19.8	6.5

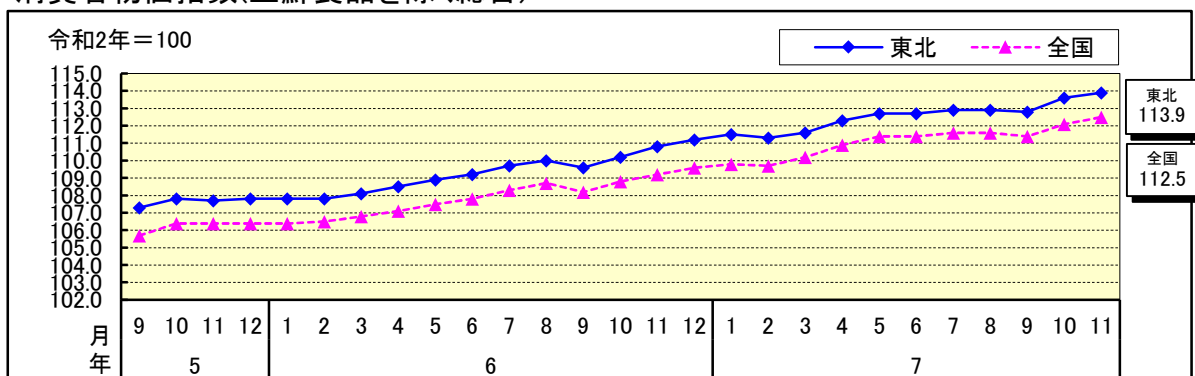
(参考:年度末累計)

年度	3年度	4年度	5年度	6年度
前年度比%	▲35.5	▲1.6	▲7.0	0.1

[東日本建設業保証(株)ほか]

9.消費者物価 … 前年を上回っている

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)



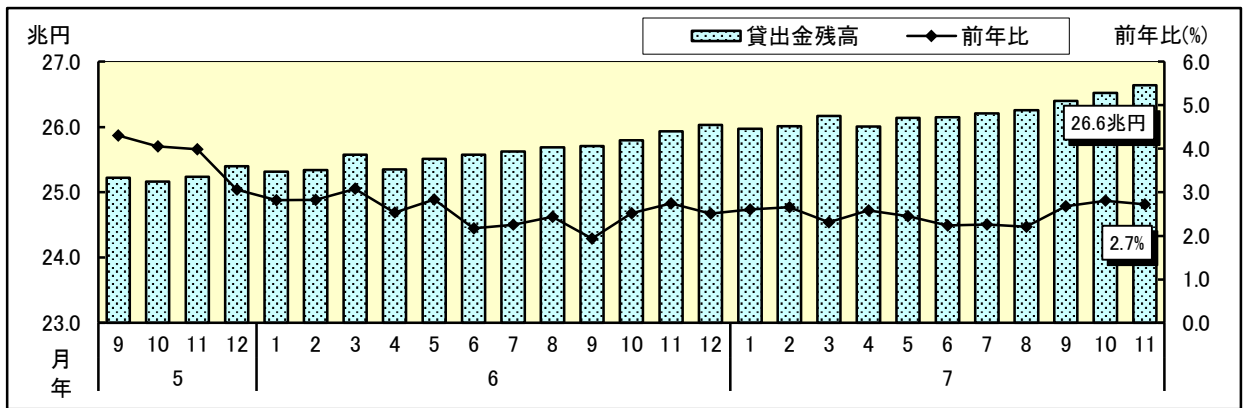
区 分	生鮮食品を除く総合〔令和2年=100〕					
	全 国			東 北		
	指 数	前月比%	前年比%	指 数	前月比%	前年比%
6年	107.9		2.5	109.3		2.9
6. 10-12	109.2	0.8	2.6	110.7	0.8	2.7
7. 1-3	109.9	0.6	3.1	111.5	0.7	3.3
4-6	111.2	1.2	3.5	112.6	1.0	3.4
7-9	111.5	0.3	2.9	112.9	0.3	2.8
7. 7	111.6	0.2	3.1	112.9	0.3	3.0
8	111.6	0.0	2.7	112.9	▲0.1	2.6
9	111.4	▲0.2	2.9	112.8	▲0.1	3.0
10	112.1	0.6	3.0	113.6	0.7	3.0
11	112.5	0.4	3.0	113.9	0.3	2.9

(注)東北の四半期分については、端数処理後の月別指数を基に算出

[総務省]

10.金融 … 貸出金残高は、前年を上回っている

貸出金残高



貸出金残高・貸出約定平均金利

区分		貸出金残高			貸出約定平均金利	
		合計	国内銀行	信用金庫	総合%	月中増減%
		前年比%	前年比%	前年比%		
7.	2	2.7	2.9	0.4	0.913	0.012
	3	2.3	2.5	0.8	0.960	0.047
	4	2.6	2.7	1.3	0.987	0.027
	5	2.4	2.6	1.3	0.996	0.009
	6	2.2	2.4	0.9	1.041	0.045
	7	2.3	2.5	0.6	1.054	0.013
	8	2.2	2.4	0.4	1.054	0.000
	9	2.7	3.0	0.0	1.070	0.016
	10	2.8	3.1	0.2	1.075	0.005
	11	2.7	3.0	0.2		

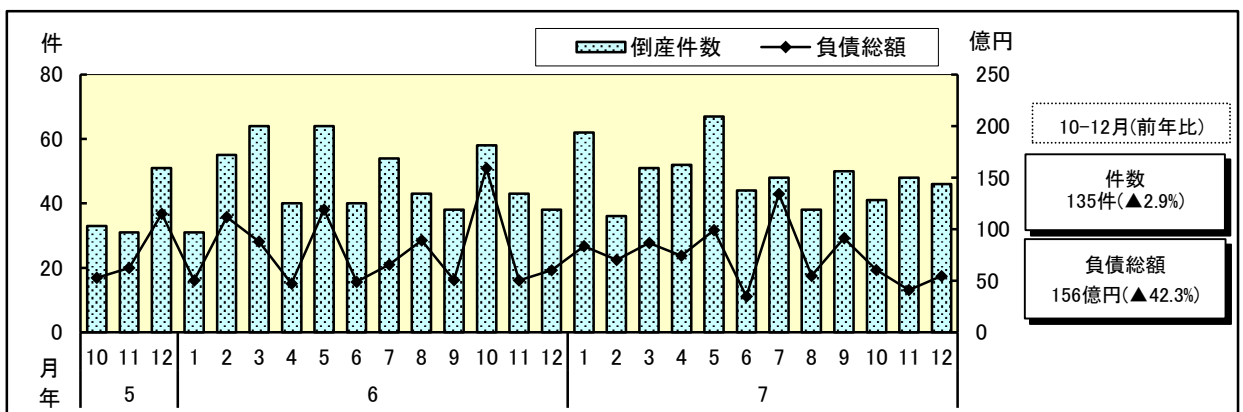
(注) 1. 貸出金残高は管内に所在する国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の店舗及び管内に本店を有する信用金庫の合計

2. 貸出約定平均金利は管内に本店を置く地方銀行分

[日本銀行、信金中央金庫]

11.企業倒産 … 件数、負債総額とも前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額



区分		件数			負債総額		
		全国	東北		全国	東北	
		前年比%	(件)	前年比%	前年比%	(百万円)	前年比%
7年		2.9	583	2.6	▲32.1	88,439	▲5.9
7.	1-3	6.0	149	▲0.7	8.4	24,029	▲3.9
	4-6	▲3.0	163	13.2	▲17.0	20,802	▲3.2
	7-9	6.3	136	0.7	▲61.2	28,044	36.7
	10-12	3.0	135	▲2.9	▲16.3	15,564	▲42.3
7.	8	11.3	38	▲11.6	12.8	5,470	▲38.5
	9	8.2	50	31.6	▲15.3	9,152	80.1
	10	6.2	41	▲29.3	▲49.6	6,034	▲62.1
	11	▲7.5	48	11.6	▲48.6	4,086	▲19.2
	12	10.2	46	21.1	53.7	5,444	▲9.4

[株]東京商工リサーチ